

CABLINE®-CAF

Part No. 20858-0**T-01 (SHELL ASS'Y)

Instruction Manual

4	S25501	2025/12/19	T.Onishi	M.Muro	T.Masunaga
3	S21106	2021/03/05	R.Fukuda	M.Muro	H.Ikari
2	S20346	2020/07/10	R.Fukuda	M.Muro	Y.Shimada
1	S19185	2019/03/28	K.Hara	T.Masunaga	Y.Shimada
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

弊社製コネクタ CABLINE-VSF を安全に御使用頂くことを目的とし、コネクタの挿入・抜去の手順及び注意点を記述致します。

1. コネクタ名称・品番

・プラグコネクタ

名称： CABLINE-CAF plug shell assembly

品番： 20858-0**T-01

・リセプタクルコネクタ

名称： CABLINE-CA RECEPTACLE

品番： 20525-##*E-##

“**”には各芯数番号、“#”はバリエーションになります。詳細は図面を参照願います。

2. コネクタ各部名称

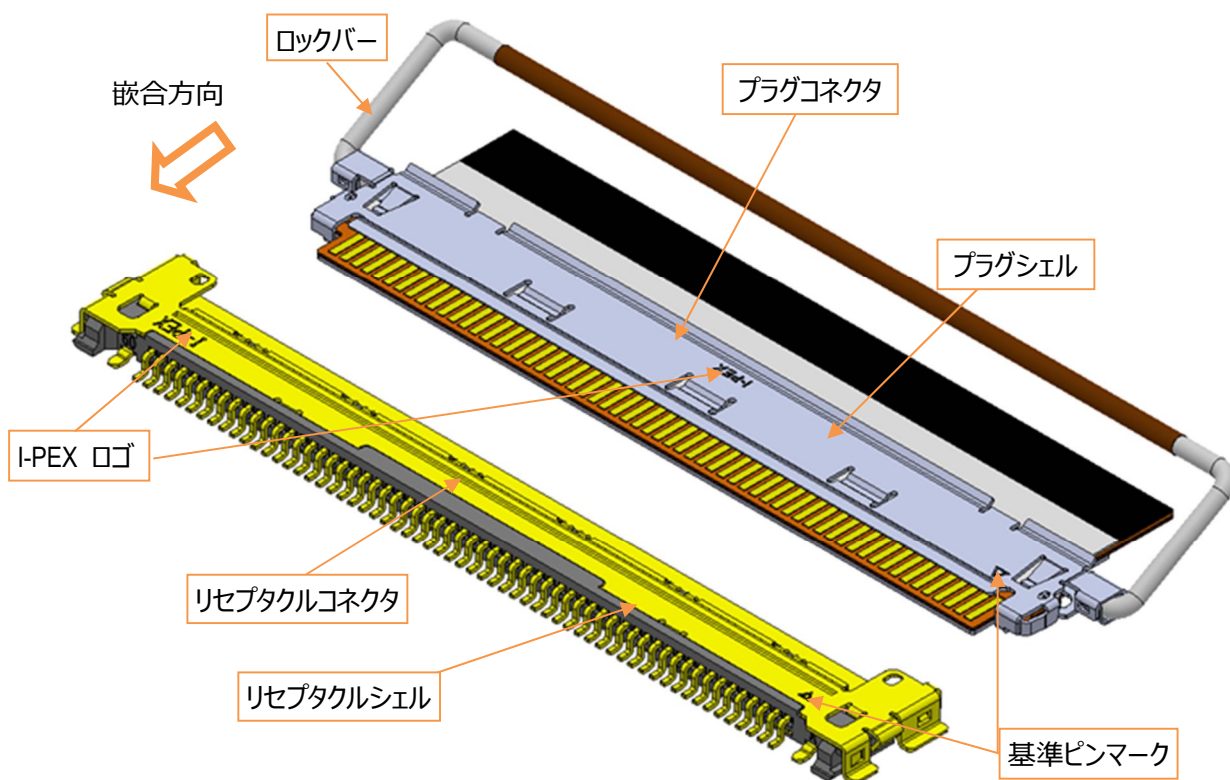


図 1. コネクタ各部名称

3. コネクタ挿入手順

3.1 プラグコネクタとリセプタクルコネクタの基準ピンマークが同じ側に来る様にセットする。

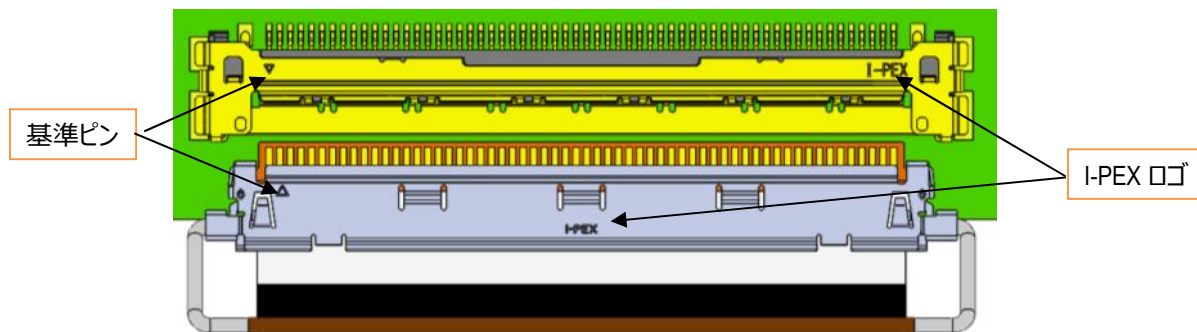


図 2. 基準ピンマーク位置

3.2 水平方向の挿入角度は 5°以内、垂直方向の挿入角度は 8°以内で、プラグコネクタをリセプタクルコネクタに対して真直ぐになるまで挿入方向に過度な荷重を加えず仮挿入を行う。

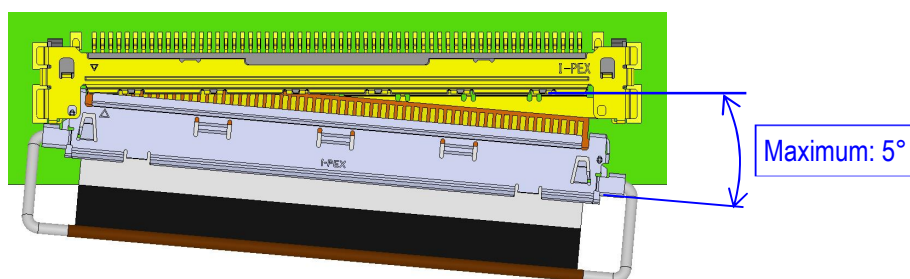


図 3. 水平方向 最大挿入角度

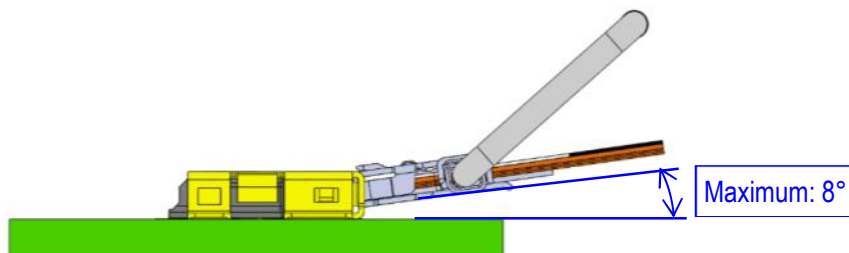


図 4. 垂直方向 最大挿入角度

3.3 仮挿入後、ロックバーをリセプタクルコネクタ側へ回転させる。

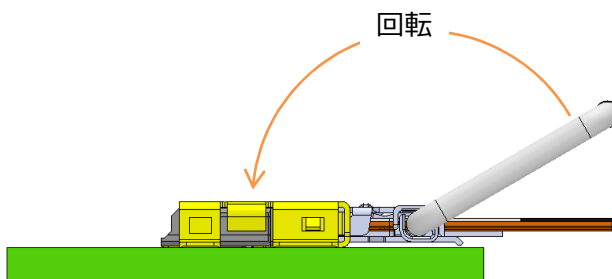
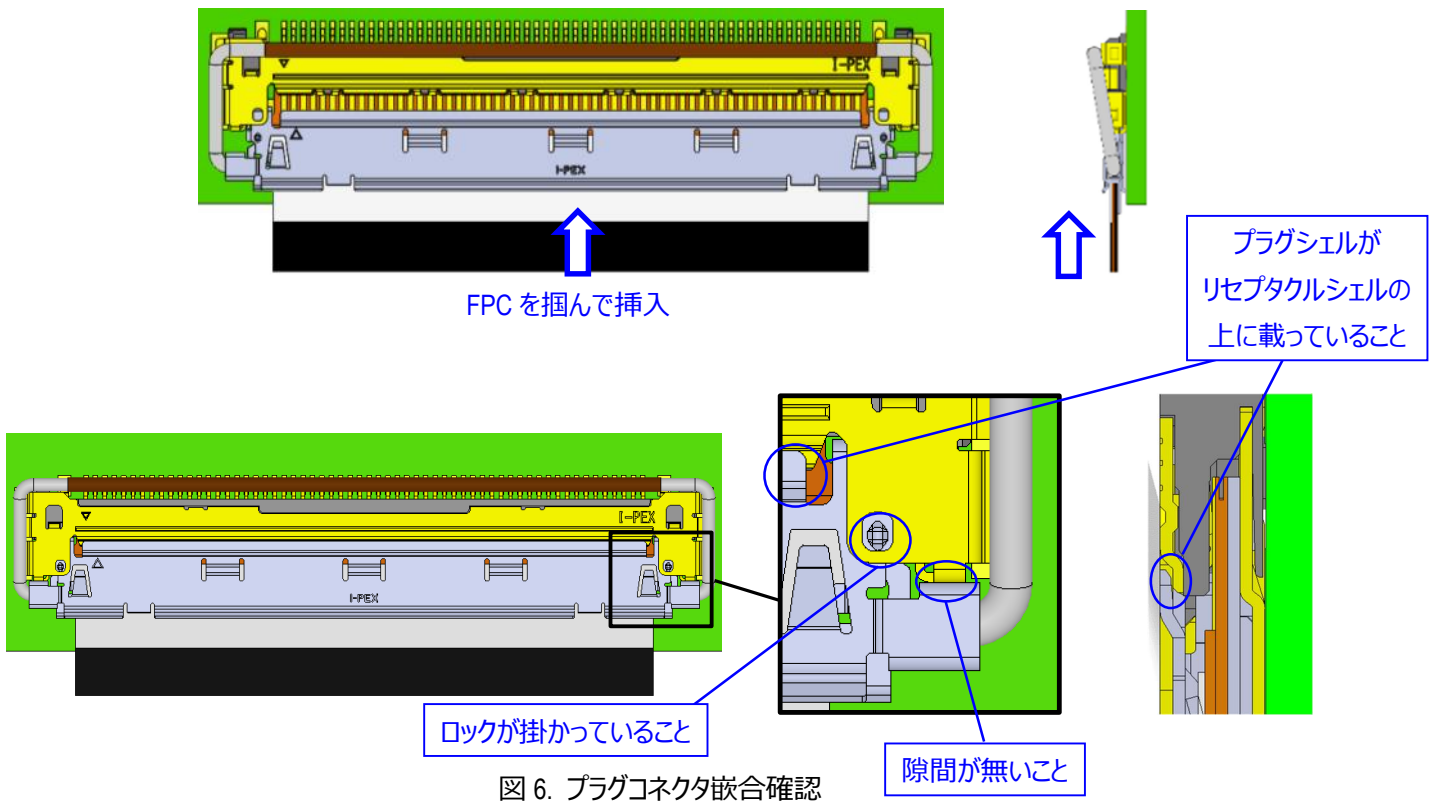
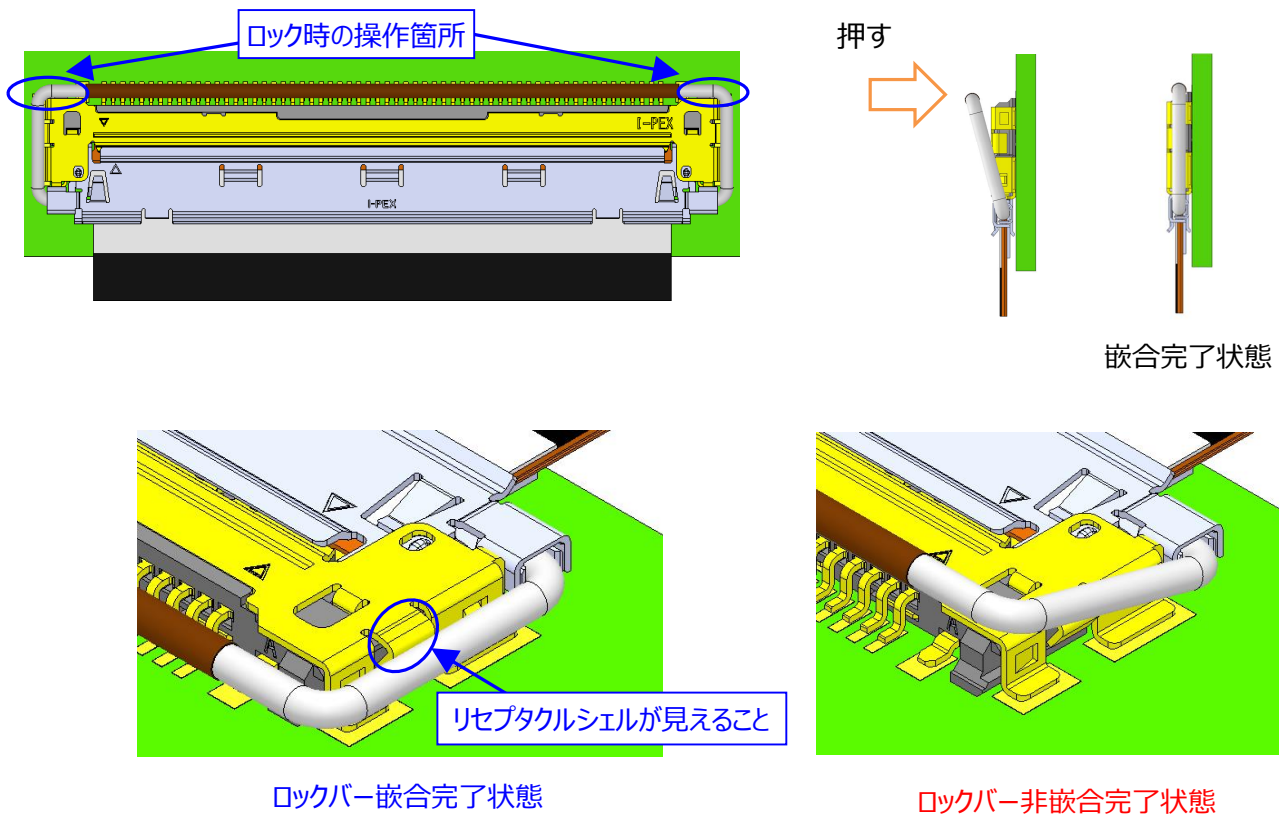


図 5. ロックバー操作

3.4 ロックバー回転後、FPC を掴んで水平に挿入し隙間が無いか確認する。



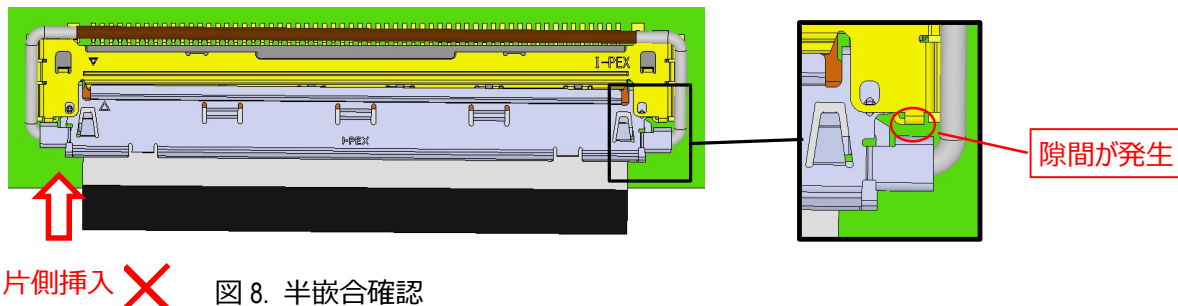
3.5 ロックバーの青丸箇所を基板側へ押し込んで、リセプタクルコネクタと嵌合する。



注意事項 1

プラグコネクタを片側へ傾けて挿入しないで下さい。半嵌合になる原因となります。

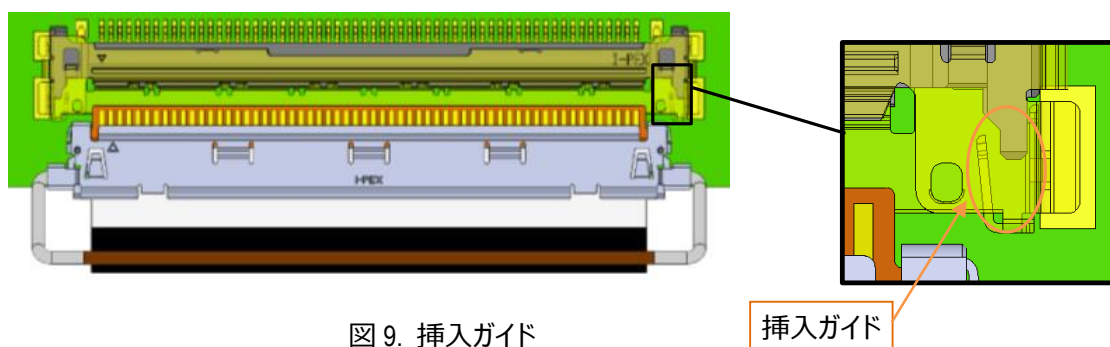
*隙間がある場合、嵌合完了していない状態になります。



注意事項 2

プラグコネクタがリセパクルシェル of 挿入ガイドに沿って挿入してください。

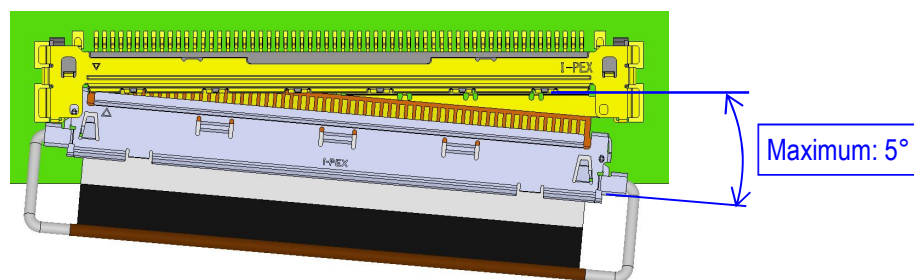
挿入ガイドに沿って挿入されない場合、コネクタが変形する原因となります。



注意事項 3

仮挿入時に水平方向のこじり角度は、5°以下で挿入してください。

こじり角度が、5°を超える場合、コネクタが変形・破損する原因となります。



注意事項 4

仮挿入時に垂直方向のこじり角度は、8°以下で挿入してください。
こじり角度が、8°を超える場合、コネクタが変形・破損する原因となります。

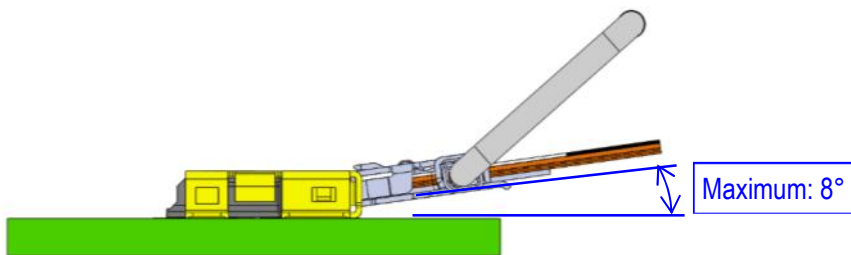


図 11. 垂直方向 最大挿入角度

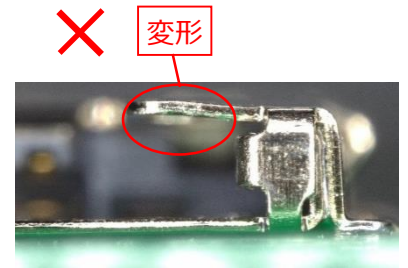
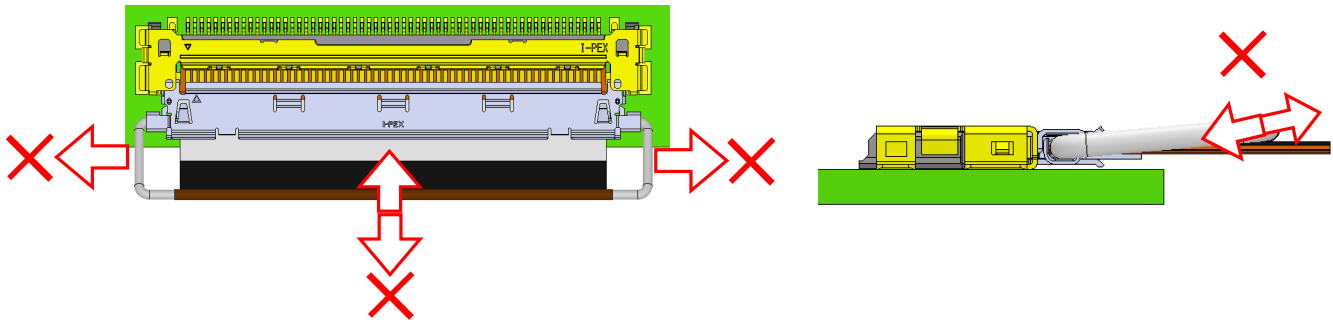


写真 1. 変形

注意事項 5

ロックバーを横方向に開く、シェル方向へ押す、反シェル方向へ引っ張る等の行為をしないでください。
ロックバーが外れるまたは変形・破損する原因となります。



ロックバーを直接押ししたり・引いたりしないでください。

図 12. ロックバー取扱い(NG)

注意事項 6

外れたロックバーを再び取り付けて使用しないでください。変形し機能を満たさない恐れがあります。

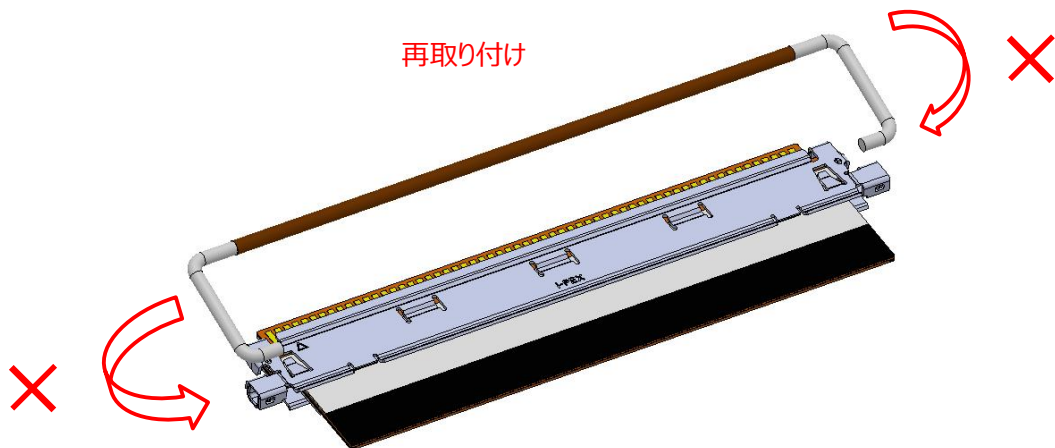


図 13. ロックバー再取り付け(NG)

4. コネクタ抜去手順

4.1 リセプタクルコネクタとの嵌合ロックを解除させる為に、ロックバーの青丸箇所を基板側から引上げて回転させる。

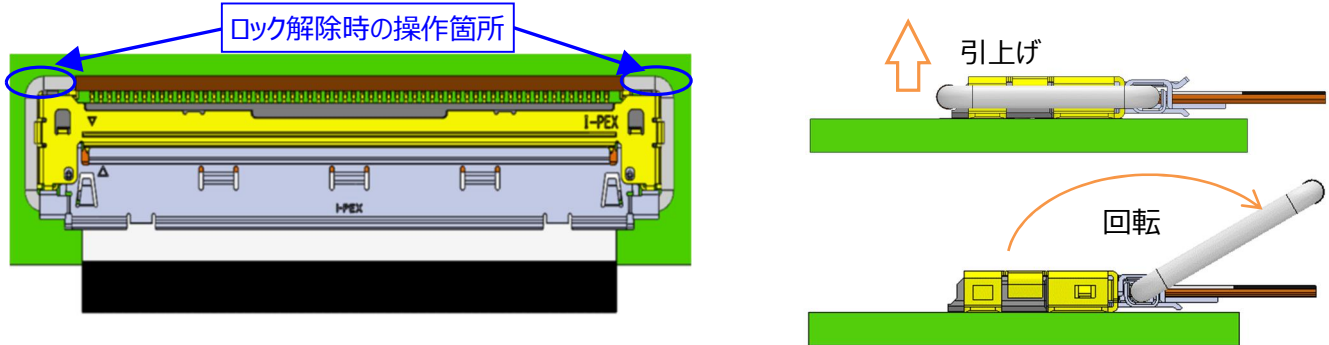
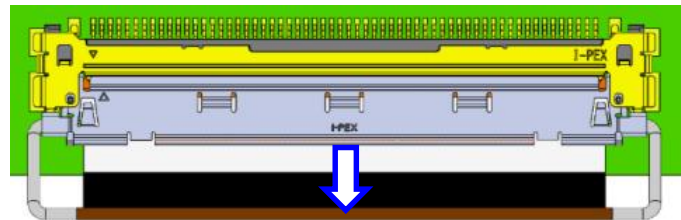


図 14. ロックバー解除操作

4.2 プラグコネクタの FPC を掴んで水平に抜去する。



FPC を掴んで抜去

図 15. 抜去操作

注意事項 7

抜去時に水平方向のこじり角度は、5°以下で抜去してください。
こじり角度が、5°を超える場合、コネクタが変形・破損する原因となります。

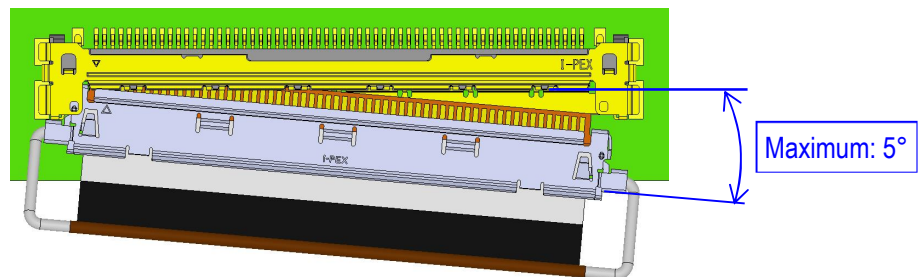


図 16. 水平方向 最大抜去角度

注意事項 8

抜去時に垂直方向のこじり角度は、8°以下で抜去してください。
こじり角度が、8°を超える場合、コネクタが変形・破損する原因となります。

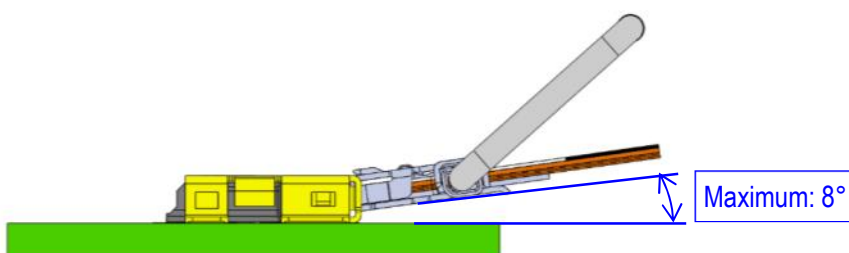


図 17. 垂直方向 最大抜去角度

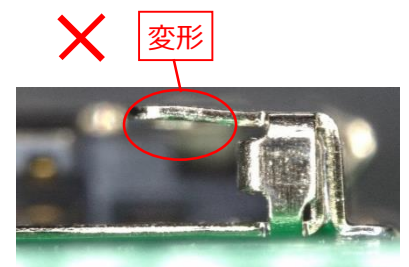


写真 2. 変形

注意事項 9

ロック解除時にロックバー絶縁コート部の内側で操作して解除してしないでください。ロックバーが変形する恐れがあります。絶縁コート部に金属等の硬いものを当てると絶縁コートが剥がれる恐れがありますので、ご注意ください。

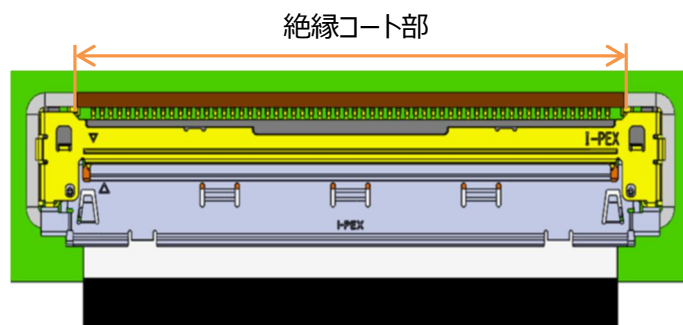
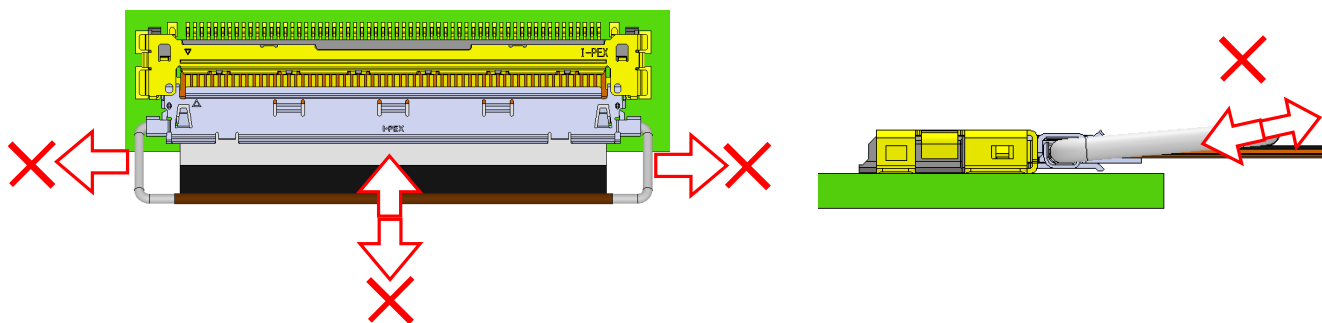


図 18. 絶縁コート部

注意事項 10

ロックバーを横方向に開く、シェル方向へ押す、反シェル方向へ引っ張る等の行為をしないでください。ロックバーが外れるまたは変形・破損する原因となります。



ロックバーを直接押したり・引いたりしないでください。

図 19. ロックバー取扱い(NG)

注意事項 11

外れたロックバーを再び取り付けて使用しないでください。変形し機能を満たさない恐れがあります。

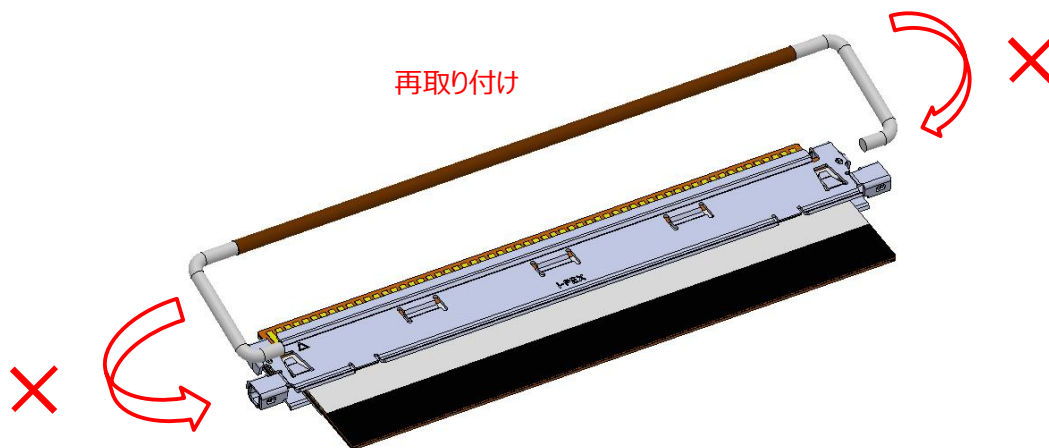


図 20. ロックバー再取り付け(NG)

5. コネクタ取扱いにおける注意事項

- 5.1 コネクタ嵌合時に、プラグコネクタの FPC 又はロックバーを垂直方向に引っ張らないでください。
リセプタクル及びプラグシェルが変形・破損する原因となります。

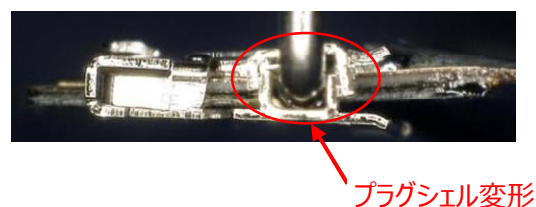
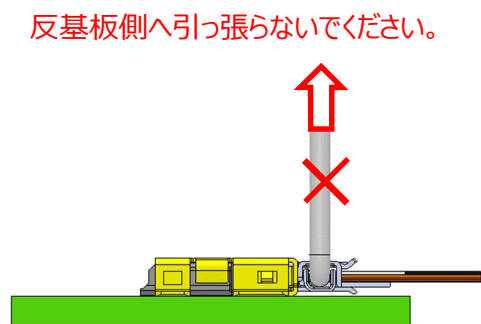
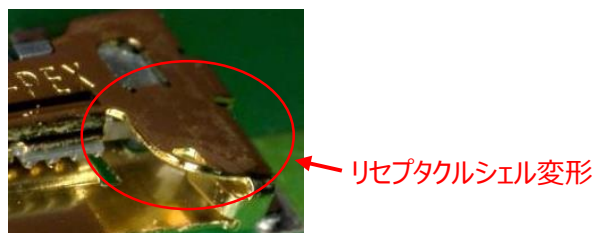
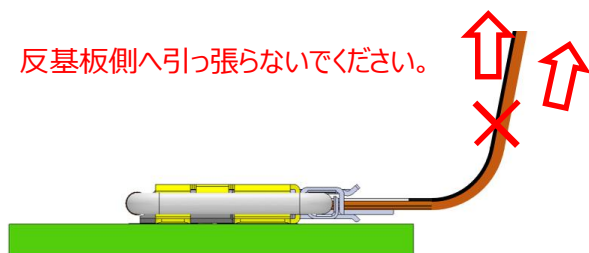
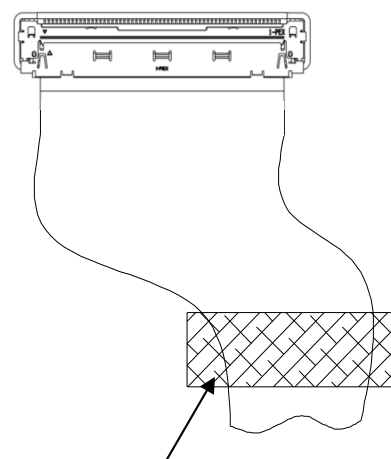
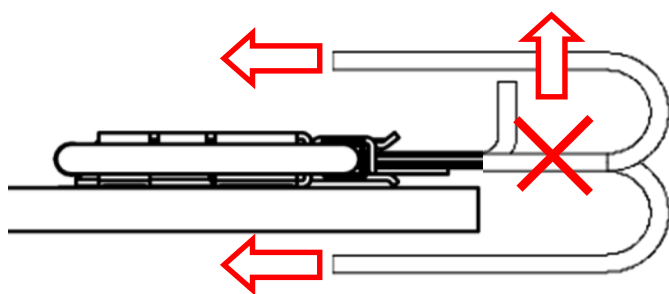


図 21. FPC とロックバーの操作(NG)

写真 3. 変形

- 5.2 FPC 引き回し時に、コネクタに過大な荷重が掛からない様にしてください。
また、常にコネクタに荷重が掛からない様に引き回してください。
コネクタの破損、嵌合不良、FPC の断線する原因となります。

下図の FPC 引き回しを行う場合、コネクタ嵌合部に過大な負荷を与えます。



コネクタ嵌合部に荷重が掛からない様に FPC を固定する等の対処してください。

図 22. FPC の引き回し(NG)